

「あらかわの心」ニュース



第17号 平成25年10月7日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

川の手荒川まつりでPR活動



▲PR寸劇「カルタ編」を上演しました

平成25年4月29日(祝)あらかわ遊園運動場、あらかわ遊園及びあらかわ遊園周辺にて、第27回川の手荒川まつりが開催されました。

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、今年も幹事会のメンバーが、あらかわ遊園内アリスの広場で「あらかわの心」のPR寸劇を上演しました。昨年同様、多くの区民の皆さんの前でPRすることができました。

子どもたちに好評の寸劇「カルタ編」は、「あらかわの心」の5つの取り組みである〈あいさつ〉〈きまり〉〈思いやり〉〈体罰〉〈見守り〉を表現したものです。

「荒川は 笑顔とあいさつ にあう町」。小さな声のA君、そこへ元気にあいさつするB子ちゃんが登場、「Aくん」とB子ちゃん、どちらが良いいあいさつですか」とい



▲リーフレットを来場者に配布



▲ブースも大盛況!

うナレーターの間いかけに、会場の子どもたちが元気な声で答えてくれました。

この模様は、荒川ケーブルテレビでも放映され、会場の子どもたちやお父さん・お母さんだけでなく、テレビをご覧いただいた多くの方にも「あらかわの心」を広めることができました。

また、「あらかわの心」ブースでは、「あらかわの心」カルタを題材にしたクイズを実施しました。当日は、300名を超える子どもたちがクイズに挑戦し、「あらかわの心」について理解を深めました。

ブースの前では、リニューアルしたばかりのリーフレットの配布も行い、充実した活動となりました。

「ミニ隅田川でどじょう・金魚つかみ



▲大きな水車が回っています

青少年育成地区委員会連絡協議会が「川の手荒川まつり」で実施している「ミニ隅田川」は、毎年大人気のイベントです。

今年も、あらかわ遊園内に「ミニ隅田川」を設置し、計1千人の子どもたちにとじょうと金魚のつかみ取りを楽しんでもらいました。

当日は天候にも恵まれ、毎年楽しみにしてくれているリピーターをはじめ、会場周辺は多くの参加者で行列ができるほどでした。

冷たい水の中に手を入れた子どもたちは、動きが素早いどじょうと金魚を相手に悪戦苦闘!!



▲どじょうと金魚に夢中

時には、大人が網を使って手助けをし、あちらこちらから歓声と笑顔が溢れるひと時となりました。自分の手でつかみ取ったどじょうと金魚はおみやげとなり、子どもたちが嬉しそうに持ち帰る姿が印象的でした。

第5回「あらかわの心」カルタ大会を開催します

平成26年2月に5回目を迎える「あらかわの心」カルタ大会を開催します。「あらかわの心」カルタで楽しく遊びましょう。入賞者にはメダルの授与があります。



▶第4回カルタ大会の様子

日にち 平成26年2月1日(土)
時間 午後1時~3時
場所 南千住ふれあい館
対象者 小学生とひらがなの読める未就学児
(小学校に入学する前のお子さん)

ACCの取材を受けました

平成25年7月17日(水)、「あらかわの心」推進運動区民委員会の活動を紹介するため、「あらかわの心」幹事会が、公益社団法人 荒川区芸術文化振興財団(以下、ACC)の取材を受けました。

当日は、幹事長をはじめ、幹事会を代表して8名の幹事が取材に並び、発足時から現在までの様々な取り組みや、平成27年に迎える発足10周年に向けたこれからの展望などを熱く語りました。

この取材内容は、ACCが毎月発行している情報誌「ほっとタウン」9月号に掲載されました。



▶取材当日の様子

荒川消防少年団キャンプ

平成25年7月27日(土)・28日(日)の一泊二日で、25名の荒川消防少年団員が野外活動として奥多摩湖畔公園「山のふるさと村」に行きました。標高700メートルの自然林に囲まれ、清らかな空気や水に恵まれた自然環境の中で、「七つのおかい」を守り、集団生活のルールを身に付けるなど多くのことを学びました。

仲間と一緒に作ったカレーライスの味とともに、この二日間は忘れられない思い出になることでしょう。今回の経験を今後の活動に活かし、地域奉仕のために役立てていきたいと思えます。

荒川消防少年団 団長 寺島 稔



▲小川内ダムで昼食

自転車運転免許講習会を開催

平成25年3月13日(水)荒川自然公園内・交通公園において、春の交通安全週間を前に各町会長、役員が安全な自転車の乗り方や交通ルール・自転車マナーについて学び、自転車事故を防止するため、「自転車運転免許講習会」を荒川警察署と荒川区防犯都市づくり部の協力により開催しました。



▲講習会の様子

上の高齢者は歩道を通行することができません。交通ルールを守って安全運転を心掛けましょう。」と話がありました。私たちも区内の商店街を自転車で暴走する姿などをテレビで放映されないよう、マナーを守りたいと実感しました。

秦野地域振興課長から挨拶、荒川区区民交通傷害保険の加入説明と依頼があり、荒川警察署の山本交通課長(当時)からは、「自転車は歩道と車道の区別のある道路では歩道と車道の区別のある道路でが、13歳未満の子どもや、70歳以上

最後の筆記試験では、数十年ぶりのテスト問題を前に、解答が一致せず苦労しました。もちろん自転車に参加した方は、交通ルールを守って帰宅しました。荒川西部町会連合会 会長 須藤 昌彦

第16回日本ジャンボリーに派遣参加

4年毎に開催されるボーイスカウトの祭典「第16回日本ジャンボリー」が、平成25年7月31日(水)〜8月8日(木)に山口県山口市きらら浜にて、海外派遣スカウトを含む参加者1万5千人強で開催されました。さくら地区(荒川・足立・台東・文京)からは、荒川区内のスカウトと指導者が派遣され、参加しました。



▲派遣参加したメンバー

開催テーマの「和」WA: a Spirit of Unityの下、海外スカウトとも交流を持ちながら、多くの活動プログラムに参加し、真っ黒に日焼けした姿で元気に荒川区に戻ってきました。この貴重な活動体験は、これからのスカウト達の成長にとって大きな財産(宝)となる事でしょう。なお、再来年には、同会場での「第23回世界ジャンボリー」の開催が決定し、世界中のスカウトたちが集う世界の祭典が予定されています。

今回参加したメンバーは、荒川1団(飯島幹人・横山健・長谷川大樹)、荒川2団(増田翔太・依田隼翠・田村朋也・大野友輔)荒川6団(市原光将・坂本一久)及び指導者(石川芳嗣・近藤信行・瀧田明)の計12名です。

荒川区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 荒川第一団副団員長 花島 克夫

レインボー子ども会の活動報告

平成25年6月30日(日)、レインボー子ども会の皆で「そなエリア東京」と「品川水族館」へ行きました。そなエリア東京では、任天堂DSを使い、もし地震や災害にあつたらどうすればいいのかをクイズ形式で学びました。いざという時にラップやレジ袋など、身近な物を使えることを学びました。

品川水族館では、トンネルの形をした水槽にサメやエイなど色々な魚がいて、泳いでいる姿は、とても迫力がありました。また、レインボー子ども会の皆と楽しい場所へ行きたいと思えます。レインボー子ども会 会長 山本 花織 副会長 山本 詩織



▶そなエリア東京にて

尾久宮前小学校「あいさつ運動」

「おはようございます。」尾久宮前小学校の児童たちは、10年程前から交代で校門の前に4人ずつ立ち、登校してくる子どもたちや地域の方々に朝のあいさつを行っています。今年度からは、学校名が入った青いタスキを身につけ、駅伝のようにタスキであいさつをつなぎ、更に気分を盛り上げています。5・6年生の代表委員の先導のもと、一年間を通じて低学年から高学年まで、全員が交代で担当することにより、恥ずかしさも減り、あいさつの習慣化による円滑なコミュニケーションが図れています。一日の始まりの挨拶によって、さわやかなやさしい気持ちで育まれています。



▲今年度は「おはようございます」

尾久宮前小学校PTA 会長 田澤 健一

浜石キャンプに参加して

荒川区青少年委員連絡会では、平成25年8月9日(金)〜11日(日)まで、静岡の浜石キャンプ場にて、荒川区少年団指導者連絡会主催の「チャレンジキャンプ」に参加してまいりました。連日の猛暑日で熱中症がとてもし心配でしたが、それを上回る子どもたちの元気さには、采れるやら感心させられるやらでした。



▲参加者全員で記念撮影

キャンプ恒例の「お祭り広場」や「スタンプ」そして「浜石岳ハイキング」と盛りだくさんの内容でしたが、解散式の後に、班員の一人ひとりが、「楽しかったよ。また、キャンプ行こうね。」と言ってくれた一言と、子どもたちの笑顔が一番印象に残ったキャンプでした。荒川区青少年委員連絡会 副会長 長野 一弘